

第72期

通期

2019.4.1-2020.3.31

証券コード:2897

NISSIN REPORT

世界を熱くする
CUP
NOODLES
ブランドへ!



GO!! GLOBAL

日本で愛される
「カップヌードル」から、
世界中で愛される
「CUP NOODLES」に!

今期最終年度を迎える「中期経営計画2020」における戦略の一つである「カップヌードル」の海外展開促進への取り組みは着実に成果を上げ、世界中で愛されるグローバルブランドへと成長してまいりました。さらなるグローバルカンパニーとしての評価獲得に向けて、NISSINの挑戦はこれからも続きます。



五感を刺激する、
唯一無二の本物のアジア、
「Asian Blast」旋風!

近年、欧州ではアジア食の市場成長とともに、“本物のアジア食”に対する消費者ニーズが高まっています。そのような背景のもと、高付加価値製品を「Asian Blast」という新たなコンセプトにリニューアルし、以降、好調に推移しています。今後も、SNSを活用したマーケティングや、試食サンプリングの実施、eスポーツ※とのタイアップなど、ターゲット層である若者を中心としたブランド認知拡大を目標にさらなる成長を目指します!

※eスポーツとは…スポーツ競技としてのコンピューター/ビデオゲームを使った対戦の名称。世界競技人口は1億人を超えともいわれています。



EUROPE



USA



「カップヌードル」の誕生の
きっかけとなったアメリカ。
今でも人気商品が次々誕生!

米国日清では、近年、プレミアム商品群の販売拡大に成功しています。中でも特に「CUP NOODLES STIR FRY」は計画を大きく上回る販売数で好調に推移しています。そのおいしさや手軽さ、新しさが若者からの人気を集めています。大手量販店の販路をさらに拡大し、今後もプレミアム商品群の強化を図ります。



やっぱりブラジルが熱い。
南米市場でも
愛されるNISSIN!

ブラジルで古くから続くパスタなどの麺文化の中で、ブラジル日清は市場におけるトップシェアを誇る即席めんメーカーです。「Nissin Lámen」は現地の人々の食生活に広く浸透している圧倒的な人気製品。近年では、新たなカップめん市場の開拓に注力しています。若者を主なターゲットとした「CUP NOODLES」の成長は著しく、多くの消費者からの支持を得て、驚くべき大躍進を遂げています。今後もデジタルを軸とした独自のマーケティング施策や、店頭での実売に繋げる営業施策など、地球の裏側でもNISSINは市場を沸かせます!



日本でおなじみの“麺”より“メシ”の“カレーメシ”のCM同様、“袋めん”より“即席めん”として、「CUP NOODLES」の魅力をかオスな世界観で訴求。SNSでは「日本風のCMがおもしろい!」など、大好評となりました。

世界がさまざまな
危機に見舞われる中、
企業が果たす社会的役割が
あらためて注目されています。
そうした中でいかにして
持続的な成長を果たすのか。
安藤CEOに聞きました。

代表取締役社長・CEO

安藤 宏基
Koki Ando



NISSINは、 共通価値の創造を 目指す

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々とご家族の皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。当社グループは、食品メーカーとしての供給責任を果たすため、製品需要の増加に対しても、消費者の皆様へ安定供給できるように努めております。

Q 2019年度決算を どう総括していますか。

2019年度は「中期経営計画2020」の4年目にあたります。この5か年計画の達成に向けて、事業環境の変化に迅速に対応し、収益力の強化ならびに業績の改善を図り、その結果として連結業績は増収増益となり、V字回復を達成しました。

国内事業は、グループの中核となる即席めん事業において日清食品、明星食品の売上収益はともに好調に推移し、全体の業績をけん引しました。

日清食品は、明確なターゲットと適切なプロモーションにより、「カップヌードル」や「日清のどん兵衛」などの主力ブランド、新シリーズである「prime袋めん」などの製品が大きく成長しています。

中でも、「カップヌードル」は国内年間売上1,000億円^{*1}を突破して、加工食品としては最大級のブランドに成長しました。明星食品もロングセラーブランドである「明星 チャルメラ」や「中華三昧」などが売上を伸ばしました。

2019年6月より両社とも価格改定をしました

が順調に浸透し、販売数量をほぼ維持することができました。

海外事業においては、「CUP NOODLES」をはじめとする高付加価値製品の販売を強化したことにより、米州地域と中国地域が業績をけん引しました。

この結果、売上収益は前年同期比4%増の4,688億円、営業利益は42.4%増の412億円、親会社の所有者に帰属する当期利益が51.5%増の293億円となり、これら利益については、過去最高益を更新しました。

※1「カップヌードル」ブランドの2019年度(2019年4月～2020年3月)国内出荷実績をもとにインテージSRI平均販売単価データから算出

Q 海外事業の中でも、特に米州地域の実績 が順調なようですね。

米国日清は、高付加価値製品の売上構成比率を高めて、また、前年度から引き続き、今年度も低価格で発売されている製品の価格改定を実施するなど、利益を上げられる事業構造にシフトしています。

特に「CUP NOODLES STIR FRY」は、ブランドを生かしながら、現地のライフスタイルとテイストに合わせた製品で、大手量販店などで好調な販売実績を上げています。

ブラジル日清でも2018年度に価格改定を実施し、その後、販売食数、売上収益、営業利益のすべてが前年を上回る好調な実績を上げました。現地の主力量販店と良好なビジネスパート

ナー関係を構築しており、販売エリアの拡大や製品認知度の上昇につなげるとともに、若者をターゲットとしたNISSINらしいコミュニケーションで需要喚起に成功しました。

また、中国地域も順調に売上収益を拡大しております。

中期経営計画の目標である「グローバルカンパニーとしての評価獲得」に向け、力強く前進しています。

Q 新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行による影響はどうか。

このような有事において、消費者へ製品を安定供給するのは、われわれ食品メーカーの義務と考えており、従業員の安全を十分確保したうえで、グローバルでの生産・供給を継続しています。一方で、生産・供給以外の従業員については、デジタルトランスフォーメーション(DX)を進めていく中で整備してきたIT環境を活用し、リモートワークを実施することで安全確保・感染予防を進めています。

昨年度から開始した「カップヌードル ローリングストックセット」の販売を通じた災害備蓄に対する意識を高める取り組みが評価され、「第6回 ジャパン・レジリエンス・アワード」の企業・産業部門において「最優秀賞」を受賞しましたが、当社が今回のような有事に強い事業構造を持っていることをあらためて評価されたものと思っています。

今回の危機を通じて、われわれの社会構造や生活様式に大きな変化が起これると思われま。当社はそうした変化をいち早く捉えて、対応してまいりたいと考えています。

Q 先日、新たな取り組みとして「EARTH FOOD CHALLENGE 2030」を発表されました。

「EARTH FOOD CHALLENGE 2030」は2030年に向けた当社グループの環境戦略です。グループの持続的な成長を環境面から支える戦略と位置付けており、世界的に大きな課題とされている「気候変動問題」と「資源の有効活用」の二つを中心に積極的に取り組みます。

まず、気候変動問題への取り組みですが、SBT^{※2}という世界基準に則り、2030年までにグループ企業から排出される温室効果ガスを削減する目標を掲げています。省エネ活動や再生可能エネルギーの調達を推進することに加え、代表的な製品である「カップヌードル」ブランドの容器をバイオマスECOカップに順次切り替えていくことで、焼却時に排出される温室効果ガスの削減や石化プラスチックの使用削減に貢献していき、2021年度中には切り替えを完了する予定です。さらに、2020年3月より東京本社の電力を、食べ終わった後の食品容器や食品の残渣(ざんさ)を含んだ家庭から出るごみの焼却から生まれるエネル

ギーを活用した「ごみ発電電力」から調達しております。

また、資源の有効活用へのチャレンジとしては、「持続可能な資源の調達」では、「RSPO^{※3}認証パーム油」の調達と使用を進めていきます。「適切な水の管理」では、KPI管理を行うことで現状の効率的な水利用のレベルを維持していきます。「食品廃棄物削減」では、生産過程で排出される廃棄物の再資源化率99.5%以上の維持と流通・販売から排出される廃棄物の削減というさらに難易度の高い目標にチャレンジしていきます。

一方、温室効果ガス削減の観点から、畜産に代わる植物由来の肉のニーズが世界的に高まっています。当社グループも東京大学と共同で「培養ステーキ肉」の研究に取り組んでいますが、これを足掛かりとして、ほぼすべての原材料を植物由来とする「プラントベースのカップヌードル」の開発も目指します。

※2 Science Based Targetsの略。気温上昇を2°C未満に抑えるための科学的根拠に基づいた温室効果ガスの削減目標。

※3 持続可能なパーム油のための円卓会議。認証パーム油調達のため、日清食品ホールディングスは2017年10月に加盟。



EARTH FOOD CHALLENGE 2030
地球のために。未来のために。



Q 最後にありますが、株主の皆様へメッセージをお願いします。

今期は中期経営計画の最終年度であり計画達成に向け、国内外を含めたグループ一丸で取り組んでいきます。

2019年度は世界各地で大規模な自然災害が相次ぎ、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に見舞われました。こうした危機的状況において、“有事に強い即席めん”が世界の人たちにあらためて認識されています。

「食足世平」「食創為世」といった創業者精神が、有事にも強く、平時にはクリエイティブな製品を生み出し続ける当社グループの原動力となっています。

今後も、社会的役割の重要性と地球環境を十分に意識しながら、NISSINらしい製品をお届けできるように努めてまいります。

食を通じてさまざまな社会課題に
果敢に挑戦していく

みんなで未来にちょっといいこと!

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2015年に国連で持続可能な開発目標(SDGs)が採択されて以来、世界中でSDGsの取り組みが広がっています。SDGsは「誰一人取り残さない」という理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて、2030年までに達成すべき17の目標を掲げています。日清食品グループは、消費者に安心しておいしく食べていただけるだけでなく、健康や環境に配慮した製品開発を進めることで、事業を通じてさまざまな環境・社会問題を解決し、SDGsの達成に貢献していきます。



RSPO認証パーム油の調達

日清食品の「関西工場」では、2019年3月よりインスタントラーメン業界では国内初※1となる「認証パーム油」の使用を開始しました。「認証パーム油」とは、森林破壊防止や生物多様性保全、人権に配慮されたパーム油で、RSPO※2が使用を促進しています。

※1 対象：日本即席食品工業協会加盟の即席めんメーカー37社。日清食品ホールディングス調べ(2019年3月1日現在)
※2 持続可能なパーム油のための円卓会議。認証パーム油調達のため、日清食品ホールディングスは2017年10月に加盟。

調達に関する自社の取り組みについて ⇒
<http://www.nissin.com/jp/about/csr/environment/procurement/>

「ごみ発電電力」を東京本社で使用

2020年3月より、「EARTH FOOD CHALLENGE 2030」の一環として、日清食品ホールディングス東京本社で使用する電力の50%を「ごみ発電電力」に切り替えました。食べ終わった後の油污れなどが付いたカップめん容器は、リサイクルが困難なことから一般的には可燃ごみとして焼却処理されています。そこで、焼却に伴うエネルギーを活用する「ごみ発電電力」を東京本社に導入することで、資源の有効活用につなげていく取り組みです。

日清食品グループは、今すぐにはできるサステナビリティ活動として「ごみ発電電力」を活用するとともに、未来の技術イノベーションも視野に入れ、使用包材のリサイクル研究も進めています。

コミュニケーション広場

Nissin
Communication Park

日清食品グループは、株主様とのコミュニケーションを大事にしています。ここでは株主様からいただいたご質問やご意見、そして株主様との対話への取り組みの一部をご紹介します!



オンライン会社説明会実施報告

2019年12月10日(火)に、第2回オンライン会社説明会を実施いたしました。

当日の同時視聴では約1,400名の方にご参加いただき、リアルタイムでご質問にお答えさせていただくなど、多くの株主様、個人投資家の皆様とのコミュニケーションの場となりました。当社では全国各地の株主様との対話を重視し、今後もこのような取り組みを続けてまいります。皆様、是非ご参加ください。

株主様アンケート結果のご報告

2019年9月末現在の株主様を対象に、「株主様アンケート」を実施いたしましたところ、11,111名の株主様からご回答をいただきました。ご協力いただきました株主様に心よりお礼申し上げますとともに、以下に、いただいたコメントの一部をご紹介します。

当社株式の購入理由をお聞かせください

- 企業理念に感動して株式を購入しました。
 - 日清食品グループの製品が大好きなのが一番の理由です。
 - 株主優待を楽しみにしています。
- 今年こそはひよこちゃんカレンダーが欲しいです!

【回答】

多くの嬉しいご意見を賜りまして誠にありがとうございます。本アンケートでは、当社グループ製品やひよこちゃんグッズに対して非常に多くのご期待のお声をいただきました。株主様からのお声にお応えすべく、毎年抽選でお送りしている「ひよこちゃんカレンダー」の当選者数を2018年度の100名様から翌年度は1,000名様へ拡大しました。このような取り組みを今後も積極的に続けてまいります。

今後の株主優待に期待していることは何ですか?

- 定番品や新製品もバランスよく入れてほしい。
- All-in PASTAなど、新しい製品を試したい!

【回答】

貴重なご意見・ご要望を賜りまして誠にありがとうございます。これまで株主様からいただいたさまざまなお声をもとに「株主様限定品のお届け」や「長期保有優待制度の導入」を行ってまいりました。今後もさらに魅力的な株主優待品を目指し、日々検討を重ねてまいりますので、今後ともご期待ください!

グループ
製品紹介

NISSIN GROUP'S

PRODUCTS

今日はどれにする？

日清食品

日清旅するエスニック カップ

トムヤムクン/
グリーンカレー

ご家庭で簡単に本格エスニックが楽しめる「旅するエスニック」シリーズのカップめんです。トムヤムクンは酸味と辛みがきいた濃厚なスープが、グリーンカレーは22種のスパイスとココナッツミルク・青唐辛子の香り高いスープが特長です。



日清食品

日清ラ王 冷し中華
醤油だれ 3食パック

今年の「日清ラ王 冷し中華」は、5食パックから“ちょうどいい”3食パックに生まれ変わります。小麦の風味が豊かに香る“もちもちつるつる食感”の全粒粉入り麺と、爽やかでフルーティなリンゴ酢を加えすっきりとした甘酸っぱい中華風の醤油だれがおいしい、夏にぴったりの味わいです。



日清食品

日清ウマーメシ
台湾まぜ飯

刺激的な“中毒性”のある味わいが特長の「日清ウマーメシ」で、名古屋ご当地メニューの「台湾まぜそば」をアレンジ。唐辛子の辛さと豚のコクを効かせた濃厚な“辛うま醤油スープ”に魚粉を加え、やみつきになる味わいに仕上げました。



明星食品

明星 チャルメラ
宮崎辛麺 5食パック/
どんぶり 宮崎辛麺

話題のご当地ラーメン「宮崎辛麺」をご家庭でお手軽に楽しめます！「チャルメラ 宮崎辛麺」は、卵一つで本場の味わいに仕上げる袋めん。「チャルメラどんぶり 宮崎辛麺」はふわふわの卵とニラ、挽肉の具材入りです。



日清食品グループは即席めんだけでなく、チルド食品、冷凍食品、シリアル・菓子、飲料とさまざまなカテゴリーの製品を扱っています。ここでは旬なグループ製品をご紹介します。今日の食卓を飾るのはどの製品？

WEB 日清食品グループの製品情報はウェブサイト

<http://nissin.com/jp/products/>

をご覧ください。

日清食品チルド

日清のそのまんま麺

冷し中華 醤油だれ 2人前/
かつおだしぶっかけうどん 2人前

麺ゆで不要、たれをかけるだけでおいしい、時短調理チルドめん「日清のそのまんま麺」がさらにおいしくなりました！「冷し中華」は喉ごしのよい麺にリニューアルし、「かつおだしぶっかけうどん」は新発売となりました。これからの暑い季節に是非ご賞味ください。



日清シスコ

素材のごほうび
ココナッツフレーク

ココナッツを贅沢に使用し、フレーク1枚1枚においしさをぎゅっと閉じこめました。素材の本格的な味わいが実感できるフレークタイプのシリアルです。ココナッツ由来の食物繊維をはじめ、カルシウム、鉄分、8種のビタミン入り。



日清食品冷凍

日清中華

汁なし担々麺 大盛り

電子レンジ調理で手軽に本格的な“汁なし中華めん”が楽しめる「冷凍日清中華」シリーズの「日清中華汁なし担々麺 大盛り」は、練りごまとたっぷりの濃厚な特製肉みそだれと、辛さ調整のできる「花椒入り唐辛子パック」が大好評をいただいています。



日清ヨーク

十勝のむヨーグルト
プレーン/ブルーベリー/いちご

発売50周年を迎える日本初の飲むヨーグルト。中栓がなく開けやすく、注ぎやすい「らくらくキャップ」が特長の、「腸内環境を改善」する機能性表示食品です。長時間丹念発酵でなめらかな口あたりが好評です。

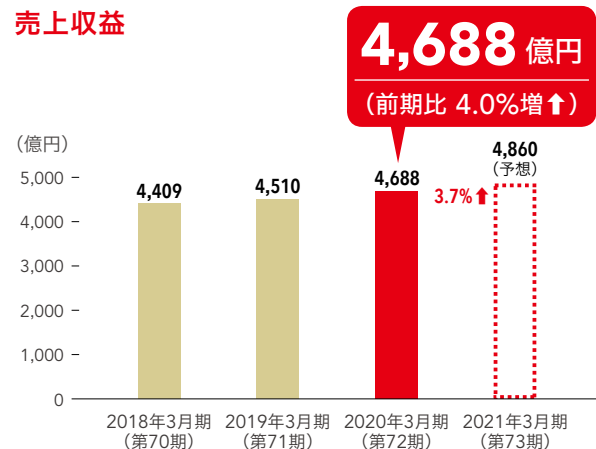
※届出番号 E329・E597・E608、機能性関与成分 乳酸菌N1301株400億個/180gあたり



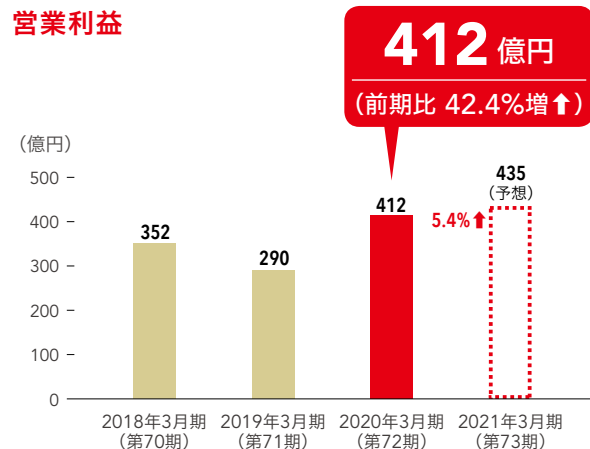
連結業績ハイライト

- POINT**
- 売上収益は、178億円増収の4,688億円。国内は即席めん事業における6月の価格改定が順調に浸透したほか、第4四半期に発生した新型コロナウイルス感染症対策による巣ごもり需要拡大で増収。海外は、米州地域・中国地域の増収が業績をけん引した。
 - 営業利益は、122億円増の412億円となり、V字回復を達成し、当期利益とともに過去最高益を更新。国内は、即席めん事業が好調であり、原材料費や物流費の増加、日清食品関西工場の減価償却費増加を跳ね返して増益に。海外は、主に米州地域(特に米国)の業績回復および中国地域の利益増加が貢献し、増益となった。

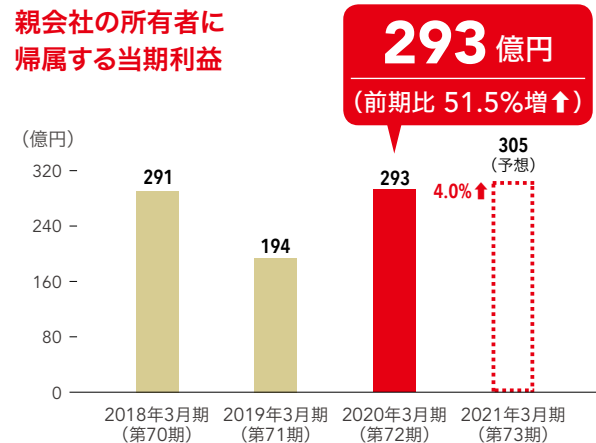
売上収益



営業利益



親会社の所有者に帰属する当期利益



- 2018年第1四半期より、当社グループの連結財務諸表および連結計算書類について、国際財務報告基準(IFRS)を適用しており、本誌においてもIFRSベースでの報告とさせていただきます。これに伴い、2018年3月期(第70期)の諸数値についてもIFRSベースで表示しております。

- 財務数値に係るIFRSと日本基準との差異についてはIRサイトをご覧ください。

IR

ウェブサイト
株主・投資家情報(IR)

<http://nissan.com/jp/ir/>

IRライブラリー

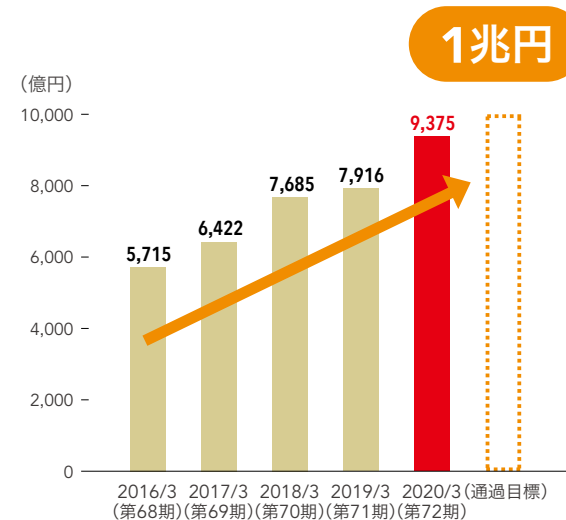
決算短信・補足資料・
決算説明資料

Check!

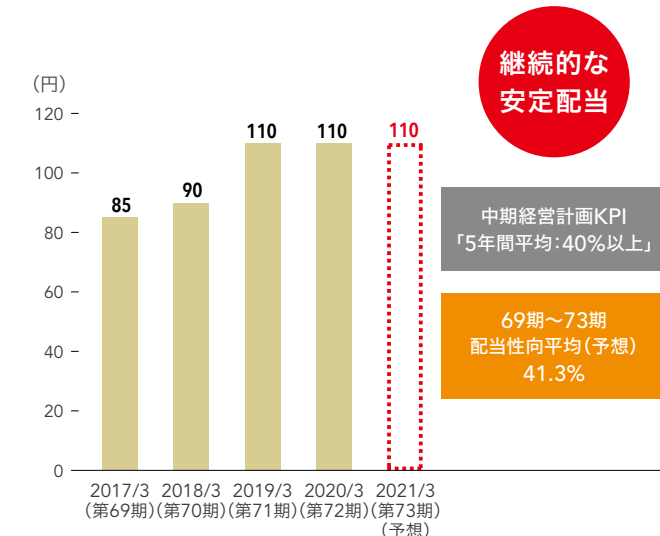
中期経営計画ハイライト

※修正した中期経営計画を元に作成しています。

時価総額※1※2



1株当たり配当金



主な中期経営計画指標

指標	2019年3月期(第71期)	2020年3月期(第72期)	2021年3月期(第73期)(目標)
調整後EPS(円)※3	225	278	281
ROE(%)	5.9	9.0	9.0

※1 第72期は2020年3月31日時点

※2 株価×発行済株式数(自己株式控除後 — 2019年3月31日時点は104,170,680株 —)

※3 (営業利益±その他収益・費用-税金費用-非支配持分に帰属する当期利益)÷期中平均発行済株式数(自己株式控除後)

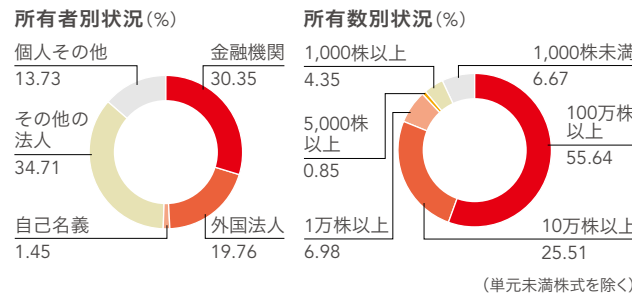
会社概要 (2020年3月31日現在)

商号 日清食品ホールディングス株式会社
(NISSIN FOODS HOLDINGS CO., LTD.)
設立 1948年9月
資本金 25,122,718,774円
従業員数 724名(連結12,983名)
事業内容 グループ事業会社(国内・海外)への経営サポートなど

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 500,000,000株
発行済株式総数 105,700,000株
株主数 50,175名
単元株式数 100株
単元株主数 47,726名

※6月25日に発送しました冊子には「44,726名」と記載しておりましたが、正しくは「47,726名」でした。お詫びして訂正いたします。



大株主

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団	79,043	7.58
三菱商事株式会社	78,000	7.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	55,734	5.35
伊藤忠商事株式会社	54,000	5.18
株式会社安藤インターナショナル	39,455	3.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	36,954	3.54
株式会社みずほ銀行	33,750	3.23
株式会社三菱UFJ銀行	22,735	2.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	17,377	1.66
株式会社三井住友銀行	16,200	1.55

※1 当社は、自己株式1,529,320株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
※2 持株比率は、自己株式を除く発行済株式の総数を分母として算出しております。

取締役および監査役 (2020年6月25日現在)

代表取締役 取締役社長・CEO 安藤 宏基
代表取締役 取締役副社長・COO 兼 日清食品(株)社長 安藤 徳隆
取締役・CFO 横山 之雄
取締役(社外取締役) 小林 健
取締役(社外取締役) 岡藤 正広
取締役(社外取締役)(独立役員) 水野 正人
取締役(社外取締役)(独立役員) 中川 有紀子
取締役(社外取締役)(独立役員) 櫻庭 英悦
取締役(社外取締役)(独立役員) 澤井 政彦
常勤監査役 亀井 温裕
社外監査役(常勤)(独立役員) 向井 千杉
社外監査役(独立役員)

役員およびチーフオフィサー (2020年6月25日現在)

社長・CEO 安藤 宏基
副社長・COO 兼 日清食品(株)社長 安藤 徳隆
常務執行役員・CDO 兼 グローバルイノベーション研究センター所長 兼 グローバル食品安全研究所長 田中 充
常務執行役員・CFO 横山 之雄
常務執行役員 兼 明星食品(株)社長 三浦 善功
常務執行役員・CSO 本田 信司
常務役員 兼 アジア東区総代表 安藤 清隆
執行役員 兼 日清食品チルド(株)社長 伊地知 稔彦
執行役員・CPO(即席麺事業担当) 岩井 章
執行役員 兼 ぼんち(株)社長 遠藤 純民
執行役員・CIO 喜多羅 滋夫
執行役員 兼 (株)湖池屋 社長 佐藤 章
執行役員 兼 日清シスコ(株)社長 豊留 昭浩
執行役員・CRO 中井 敏雄
執行役員・CMO 深澤 勝義
執行役員・CLO 本間 正浩
執行役員 兼 日清ヨーク(株)社長 前田 健二
執行役員・CPO(低温食品・菓子・飲料事業担当) 山田 恭裕
執行役員 兼 日清食品冷凍(株)社長 吉田 広之
CAO 清藤 勝彦

株主メモ (2020年6月25日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
配当金受領	期末配当金 3月31日	特別口座の口座管理機関	
株主確定日	中間配当金 9月30日	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
単元株式数	100株	事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	4月1日から3か月以内に開催(本年は6月25日に開催しました)	郵便物送付先	〒168-8507
基準日	3月31日	およびお問合せ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。(公告掲載URL) http://nissin.com/koukoku/	商品取引所	東京証券取引所市場第一部

ご案内

(1) 株式に関するお手続きについてのお問合せ先について

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では、取次のみとなります)	株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

(2) 電子メールアドレスのご案内

当社は株主様からのご意見をお電話、お手紙のほか電子メールを利用してお寄せいただくための電子メールアドレスを設けております。当社についてお気付きの事柄がございましたら、次のメールアドレスまでご意見をお寄せください。

- ① 電子メールアドレス 0120938366@nissin.com
- ② ご連絡先 〒160-8524 東京都新宿区新宿六丁目28番1号 日清食品ホールディングス株式会社 総務部
TEL:0120-938-366(フリーコール)(土・日・祝日および会社所定の休業日を除く10:00~16:00)

※新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、受付時間を変更させていただいております。



第1弾 ▶

「一平ちゃん
夜店の焼そば
わさびマヨ醤油味」



復活
総選挙

第1位

ありがとう！明星70周年

周年記念製品を続々発売！

2020年3月に創立70周年を迎えたことを記念して、明星食品はロングセラーブランドの中から周年記念製品を発売していきます。第1弾では、“一平ちゃん夜店の焼そば復活総選挙”を実施し、見事1位となった「明星 一平ちゃん夜店の焼そば わさびマヨ醤油味」を2020年5月11日に全国で発売しました。今後も主力ブランドの記念製品を発売する予定です。是非ご賞味ください！



「第6回 ジャパン・レジリエンス・

アワード(強靱化大賞)」の

「最優秀賞(企業・産業部門)」を受賞

日清食品ホールディングスは、災害備蓄の意識を高める取り組み「もしものときに、いつものおいしさを 災害備蓄・ローリングストックアーズ」と「カップヌードル ローリングストックセットの販売」が評価され、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会主催のこの賞を受賞しました。今後も創業者が掲げた「食足世平」の思いのもと、製品開発や社会貢献活動を通じた災害に強い社会の構築に貢献していきます。



日清食品グループの製品が

食品・美容業界から高い評価を獲得

日清食品の「カップヌードル 味噌」と湖池屋の「じゃがいも心地」が、食品業界に新風を吹き込み、多くの課題を克服した製品として「第38回食品ヒット大賞」優秀ヒット賞を受賞。また、日清食品グループ独自の“ヒアルロン酸を作らせる乳酸菌”を配合した「ヒアルモイスト発酵液」が、“実感の早さ”、“乳酸菌による内側からのスキンケアという新しいアプローチ”を高く評価され、7つの「ベストコスメ賞」を受賞しました。

